This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

DIALOG(R)File 345:Inpadoc/Fam.& Legal Stat

(c) 2003 EPO. All rts. reserv.

10387199

Basic Patent (No, Kind, Date): EP 474508 A2 920311 <No. of Patents: 003>

LIQUID CRYSTAL DISPLAY DEVICE AND MOUNTING ARRANGEMENT THEREFOR

(English; French; German)

Patent Assignee: SEIKO EPSON CORP (JP)

Author (Inventor): SEIICHI SAKURA (JP); KAMIMURA MASARU (JP)

Designated States: (National) DE; FR; GB

IPC: *G02F-001/13; H01L-021/60 Derwent WPI Acc No: G 92-082022 Language of Document: English

Patent Family:

Patent No Kind Date Applic No Kind Date

EP 474508 A2 920311 EP 91308176 A 910906 (BASIC)

EP 474508 A3 920325 EP 91308176 A 910906 JP 4116625 A2 920417 JP 90237350 A 900907

Priority Data (No,Kind,Date): JP 90237350 A 900907 DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2003 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

03751525 **Image available**

PACKAGING STRUCTURE FOR DRIVING CIRCUIT IN LIQUID CRYSTAL DISPLAY DEVICE OR THE LIKE

PUB. NO.: **04-116625** [JP 4116625 A] PUBLISHED: April 17, 1992 (19920417)

INVENTOR(s): SAKURA SEIICHI

KAMIMURA MASARU

APPLICANT(s): SEIKO EPSON CORP [000236] (A Japanese Company or Corporation)

, JP (Japan)

APPL. NO.: 02-237350 [JP 90237350]

FILED: September 07, 1990 (19900907)

INTL CLASS: [5] G02F-001/1345; H01L-021/60

JAPIO CLASS: 29.2 (PRECISION INSTRUMENTS -- Optical Equipment); 42.2

(ELECTRONICS -- Solid State Components)

JAPIO KEYWORD:R011 (LIQUID CRYSTALS)

JOURNAL: Section: P, Section No. 1399, Vol. 16, No. 371, Pg. 130,

August 10, 1992 (19920810)

ABSTRACT

PURPOSE: To improve the reliability and durability in dealing with finer patterns and size reduction by subjecting the respective connections of the input terminal parts on an electrode substrate of a liquid crystal display body, etc., and an IC for driving as well as a control circuit board to wire bonding or face down packaging.

CONSTITUTION: The output wiring between a liquid crystal display body and the IC 2 for driving is formed by face down packaging and the output wiring between the liquid crystal display body 3 and the IC 2 for driving is executed by wire bonding packaging at the time of the packaging of the driving device of the liquid crystal display device consisting of the liquid crystal display body 3, etc., formed by sealing the liquid crystal between a pair of the glass substrates having transparent electrodes on the inside surfaces, a control member, such as driving control circuit 4, etc., for controlling this body, and the IC 2 for driving which is used for driving the liquid crystal display body 3 and, the input of which exists on one side and the output of which exists on the one side opposite thereto. The sufficient dealing with the fine patterning or the size reduction is possible in this way and the reliability and durability are improved.

BEST AVAILABLE COPY

19日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4−116625

@Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成4年(1992)4月17日

G 02 F 1/1345 H 01 L 21/60

311 S

9018-2K 6918-4M

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全5頁)

図発明の名称

液晶表示装置等における駆動回路実装構造

②特 顧 平2-237350

❷出 願 平2(1990)9月7日

⑩発 明 者 桜

聖一

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエブソン株式

会社内

@発明者 上村

優

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式

会社内

勿出 願 人。

セイコーエブソン株式

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

会社

四代 理 人

弁理士 鈴木 喜三郎

外1名

明細書

1. 発明の名称

液晶表示装置等における駆動回路実装機造

2. 特許讀求の範囲

(2)上記の該液晶表示体と該駆動制御回路基板間のワイヤーボンディング実装において、 該液晶表示体上にフェースダウン実装で接続された該駆

助用ICの入力配線へのワイヤーボンディングを行うために、 該駆動制御回路基板に接続部を残して基材を切除したボンディング用間口部を設け、 該開口部をワイヤーボンディングのワイヤーが通過して該駆動制御回路基板と該駆動用ICの入力配線を岡方向面でボンディングされていることを特徴とする論求項(1)記載の液晶表示装置等における駆動回路実装構造。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、例えば液晶表示装置等において液晶表示体と、制御部材である駆動制御回路基板と、 駆動用ICを接続する場合等の駆動回路実装構造 に関する。

〔従来の技術〕

例えば液晶表示装置において、 液晶表示体とその 駆動制御回路 基板とを接続する 場合、 LSI等の 液晶駆動用のICチップを 実装 した可挽性配線接続部材等が多く用いられている。

第7図は可挽性配線接続部材を用いた液晶表示 装置の一例を示すもので、図において1は液晶表 示体とその駆動制御回路基板とを接続するいわゆ るFPC(Plexible Print Circuit)等の可挽性 配線接続部材であり、その可挽性配線接続部材1 上には、LSI等の液晶駆動用のICチップ2が いわゆるTAB(Tape Automated Bonding)方式 等で実装されている。

そして可接性配線接続部材1の入力配線の他端を駆動制御回路基板4に半田付け等で接続し、出力配線を液晶表示体3の電極基板9に異方性導電接着剤7等で接続するものである。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしこうした可換性配線接続部材を用いた液晶表示装置等においては、 可換性配線接続部材のインナーリード部の配線(網箔)の厚さは35 μmでピッチが100μm~200μm、 本数が32~320本程度で細かく、 しかもピッチが小さいためプロセス中に曲がりや折れ等の欠損が起こり易く歩留りが低く、 しかもピッチを100μm

進を提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

本発明の液晶表示装置等における駆動回路実装 構造は、例えば内面に透明電極を有する一対のガ ラス基板に液晶を封入した液晶表示体等と、 該液 晶表示体を制御する駆動制御回路基板等の制御部 材と、鉄液晶表示体を駆動するための、入力が一 辺に、出力が相対する一辺にある駆動用ICから なる液晶表示装置における駆動回路実装構造等に おいて、 鉄液晶表示体と該駆動用IC間の出力配 雄をフェースダウン実装で行いかつ、 該液晶表示 体と該駆動制御回路基板間の入力配線をワイヤー 「ポンディング実装されたことを特徴とする。 また 上記の該液晶表示体と該駆動制御回路基板間のワ イヤーボンディング実験において、 該液晶表示体 上にフェースダウン実装で接続された該駆動用I Cの入力配線へのワイヤーポンディングを行うた めに、 該駆動制御回路基板に接続部を残して基材 を切除したポンディング用関口部を設け、 該開口 節をワイヤーボンディングのワイヤーが通過して

以下にすることは非常に困難であった。

特に、最近の液晶表示装置等にあっては表示の カラー化、高密度化、コンパクト化にともなって 電極基板上の電極数が増加し、電極パターンが散 細化される傾向にあり、それに応じて上記可換性 配線接続部材上の入出力配線、とりわけ出力配線 のピッチも微細化せざるを得ない傾向にある、し かし可換性配線接続部材では上記の特に100μ ロ以下の微細パターン化に充分に対応出来ない等 の不具合があった。

さらに可挽性配線接続部材を該液晶表示体等に 具方性導電接着剤等で接続した後に可換性配線部 材の入力側を液晶表示体の下部に配置するために、 液晶表示装置の厚みが可撓性配線部材または可撓 性配線部材のICチップ分だけ厚くなってしまう という不具合もある。

そこで本発明は上記の問題点を解決するもので、 前記の微糊パターン化またはコンパクト化に充分 に対応することができ、 しかも信頼性・耐久性の 向上した液晶表示装置等における駆動回路実装構

該駆動制御回路基板と該駆動用ICの入力配線を 同方向面でボンディングされていることを特徴と する。

(実施例1)。

以下、本発明を液晶表示装置に適用した実施例に基づいて具体的に説明する。

第1図は本発明の縦断面図で、前記従来例と同一の機能を有する部材には同一の符号を付して再 度の説明を省略する。

図の液晶表示体3と、 該液晶表示体3を制御品表示体3を制御回路基板4等の制御部材と、 該液晶表形体3を制御品を取動用1 C 2 からなる 液 出品表が 表 世間 は 2 を は 3 の 電 極 1 0 と 駆動用 1 C 2 を が 表 を を 1 な 2 を 2 を 2 を 2 を 3 の 同 を 2 を 3 の 同 を 2 を 3 の 同 を 2 を 3 の 同 を 2 を 3 の 同 を 2 を 3 の 同 を 4 の か を 3 の 同 が と 変 制 の が ま が な 3 の 同 が と 変 制 の が ま が な 3 の 日 を 5 の 同 か 2 を 3 の 日 を 5 の 同 か 2 を 3 の 日 を 5 の 同 か 3 の 日 を 5

に接着剤8により固定されている。

(実施例2)

(実施例3)

第3図は上記実施例2のワイヤーボンディングの位置を変えた例で、 駆動制御回路基板4からのワイヤーボンディングの位置が液晶表示体3の外

一辺にあるものを接続したもので、 ボンディング 用関口部hの大きさは 1. 8㎜×15. 5㎜である。

なお上記実施例においては液晶表示装置を例にして述べてきたが、 プラズマディス プレイやELディスプレイもしくはサーマルヘッド等にも適用可能である。

(発明の効果)

形より外側に位置する駆動制御回路基板4側から接続されたものである。

なお上記実施例 1、 実施例 2、 実施例 3 において、 図に示してある駆動用 I C 2 は、 チップ外形が 1 1. 3 mx 2. 7 mの 1 6 0 出力、 インナーリー ドピッチが 6 5 μm、 アウターリードピッチが 8 0 μmの駆動用 I C を使用 し、液晶表示体 3 はガラスの厚みが 1. 1 t の部材で構成されたものである。

〔実施例4〕

第4図・第5図・第6図は本発明をビデオカメ ラのビューファインダーに用いた駆動回路実装構 造の一例を示す正面図とコモン側からの側面図と セグメント側からの側面図である。

図のビデオカメラビューファインダーの総外形は50m×28m、 液晶表示体3の外形寸法は26m×19.5mで、表示容量は360×220 ドット、ドットビッチは0.06×0.065で、駆動用1C2のインナーリードのビッチは65μmの、入力が一辺にあり、出力が入力の相対する

以上説明してきたように本発明は、液晶表示体等の電極基板上の入力端子部と駆動用ICそんでも翻御回路基板のそれぞれの接続をワイヤーボング、またはフェースダウン実装することをがカップでは、カップでは、カップでは、カップをはかって、カップをできるという効果を有している。

4. 図面の簡単な説明

第1図・第2図・第3図は本発明の基本的な実施例を示す級断面図、第4図・第5図・第6図は実施例を用いたビデオカメラのビューファインダーの正面図と側面図、第7図は従来の液晶表示装置の縦断面図である。

1 … 可挠性配線接続部材

8 … 接着剤

2 … 駆動用1 C

9 … 電極基板

3 … 液晶表示体

10…透明電極

4 … 駆動制御回路基板

11…出力配練

5 … ワイヤー ボンディング 12 … ランブハウス

7 … 異方性導電接着剤

13…入力配線

h … ポンディング用間口部

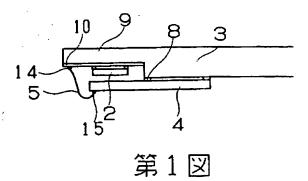
1 4 … 入力配線

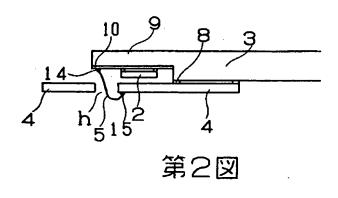
15…接統端子

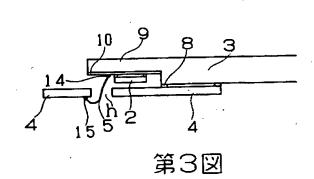
以

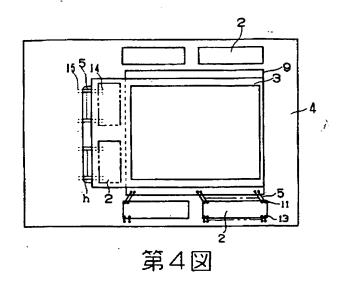
出額人 セイコーエブソン株式会社

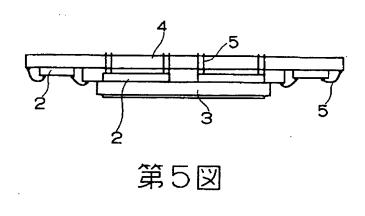
代理人 弁理士 鈴木喜三郎 他1名

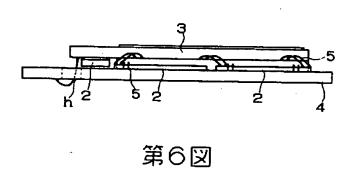


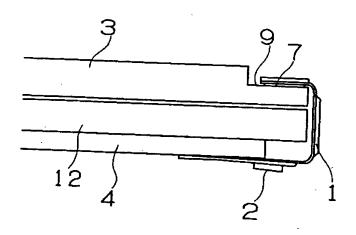












第7図